

OEM 受注後生産

スクリーンインキ

パッドインキ

一般印刷 | 二液反応型

PAD-POM

製品の特長

- これまで接着が困難だったポリアセタール材に強力に接着します。
- 硬化皮膜は耐薬品性、耐アルコール性等の物性が優れています。

特性

接着性

耐性

耐薬品性

耐溶剤性

耐アルコール性

推奨被印刷物

材質

オレフィン系

処理ポリアセタール [POM]

コロナ放電処理ポリアセタール

塗装面

塗装金属

塗装金属板

金属、ガラス、セラミック、ハードコート処理面

金属素地

ガラス

熱硬化性樹脂

仕上り・質感・見た目の効果

仕上り

グロス

カラー・グレード

標準色（一般色）

00メジウム

02黄

03青黄

07白

08赤

16ピンク

25紫

28オレンジ

45濃藍

46藍

75グリーン

90黒

標準色（耐候色）

06金赤

18紅

スペック

荷姿

1kg金属缶

付属品

- 硬化剤 100g金属缶
- 溶剤 1kg缶 / 15kg缶

使用方法

- (インキ+硬化剤) 100部に対し溶剤を5~20部加え、よく攪拌してから印刷して下さい。
- ポリアセタール材に印刷する際は、必ず「コロナ放電」等の表面処理を行います。
- 印刷面がぬれ指数で50dyne/cm程度になる様に処理して下さい。(未処理材:約34dyne/cm)
- 可使時間は6~8時間(20°C)です。
可使時間を過ぎてもインキは流動性があり印刷が可能ですが、皮膜物性が低下しますので使用は避けて下さい。

希釈剤

- SGA溶剤(速乾、標準、遅乾)
- PC溶剤

刷版

洗浄

ビニール洗用溶剤

硬化方法・硬化条件

- 150°C10分の加熱で直ちに完全硬化します。
素材の変形が問題になる時は、120°C30分の加熱をします。
又、80°C30分の加熱でもある程度の接着性を得られます。

反応硬化条件

硬化剤・促進剤

JA-960

インキ100部に対して10~20部

消防法及び有機溶剤中毒予防規則(有機則)による分類

品名	該当品	消防法危険物分類	有機則分類
PAD-POM-1インキ	全色(含調色品)	第四類第二石油類	第二種有機溶剤等
SGA溶剤	速乾、標準、遅乾	第四類第二石油類	第二種有機溶剤等
PC溶剤	速乾、標準、遅乾	第四類第二石油類	第二種有機溶剤等
ビニール溶剤	洗用	第四類第二石油類	第二種有機溶剤等
硬化剤	JA-960	第四類第一石油類	第二種有機溶剤等

注意事項

- このインキはOEM製品です、ご購入に際しては、[ナビタスマシナリー株式会社様](#)にご相談下さい。
- 硬化剤は湿気により硬化します。密栓して保管して下さい。
- ご使用に際しての安全上の注意事項に関しては、製品の安全データシート（SDS）をご参照下さい。
- 当インフォメーションに記載されている内容は予告無しに変更・改訂する場合があります。
- この特性データは、弊社の実施した評価結果に基づくもので、お客さまのご使用時の製品特性を保証するものではありません。
- 使用の際は、実際に使用される装置及び被着材での評価結果に基づき、条件を十分ご検討の上、ご使用下さい。